

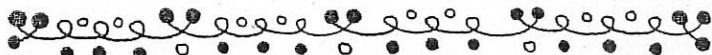
ほけんだより

令和元年度 12月号

本格的な冬がやって来ました。寒さや乾燥で感染症が流行しやすい季節です。十分な睡眠と栄養を取る事を心掛けましょう。また、外出する機会が多くなる時期です。帰宅したら手洗い・うがいを忘れずに行いましょう。

〜〜10・11月の感染症情報〜〜

10月	とびひ	1名	(らっこ組)		
	溶連菌感染症	1名	(くじら組)		
11月	RSウイルス	5名	(あかちゃん組 2名 くじら組 1名)	ぺんぎん組 2名	
	突発性発疹	1名	(あかちゃん組)		
	溶連菌感染症	6名	(らっこ組 2名 くじら組 2名)	いるか組 2名	
	インフルエンザA型	2名	(ぺんぎん組)		



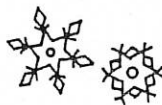
胃腸炎が流行しやすい季節になりました。胃腸炎は症状（下痢や嘔吐、発熱など）が治まり、普通の食事がしっかり食べられるようになってから登所可能です。主症状が無くなってからも数週間(ウイルスの種類によっては約1ヵ月)便にウイルスが排出されます。トイレの後の手洗いやオムツ交換後の便の処理には十分気をつけてください。

胃腸炎に係わらず嘔吐物・下痢便などで汚れた衣類は感染拡大を防ぐ（二次感染予防の）為、保育所では水洗いや洗濯をせずにお返す場合があります。 家庭での適切な対処・洗濯のご協力お願い致します。上記に記載したように1ヵ月近く菌が排出されてる場合もある為、胃腸炎と診断されたら1ヵ月間は汚れた衣類を水洗いせずにお返すこともあります。

園医健診のお知らせ



.....*



* 日時 12月5日(木) 15:00~

* 対象クラスは あかちゃん組、小さいぺんぎん組、らっこ組です。

問診票は配布しています。記名・記入して提出お願い致します。

*



.*

.....*



.....*

.....*

.....*

.....*

.....*

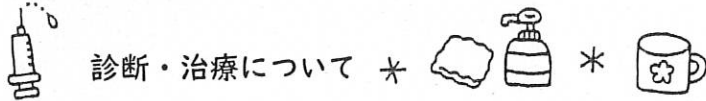


インフルエンザ対策 行っていますか？

今年は例年より流行が早いインフルエンザ。予防対策で元気に過ごせるのが一番ですがかかった時に気にしてほしいこともありますので参考までに・・・

インフルエンザとは？

感染力が非常に強く、急な発熱・悪寒・全身のだるさ等、重い風邪症状があります。



診断・治療について *

熱が出てすぐにはわかりませんが周囲の流行や症状で検査をせずにインフルエンザと診断される場合もあります。また、検査キットで陰性でも症状や周囲の流行状況を総合的に判断して診断される時もあります。治療には抗インフルエンザ薬が有効ですが服薬中は（予防薬も含む）登所を控えて家庭でゆっくり過ごしてください。

子どもを見守るポイント

肺炎や中耳炎まれに脳症などの合併症をおこすおそれがあります。発熱中は特に子どもを一人にしないように心掛け、下記のような異常があればすぐに受診しましょう。

意識がおかしい

ぼんやりして視線が合わない
呼びかけても答えずウトウト
痙攣かもしれない
手足をつっぱりガクガクする
白目をむいている

呼吸状態がおかしい

顔色が悪く、唇が紫色
肩が上下する呼吸
呼吸が速く、浅い
胸を痛がる

食欲不振・脱水症状がある

食欲がない
水分を取りたがらない
何度も嘔吐
ぐったりしている
機嫌がよくない

インフルエンザは出席停止の感染症です。診断された場合は保育所にも連絡して下さい。また、送迎する保護者がインフルエンザに感染した場合はインターホンを活用して極力園舎に入らないようご協力お願い致します。

年度始めにもお願いしましたが10種の感染症にかかった場合、医師の意見書を提出して頂く事になっています。インフルエンザも意見書が必要な疾患ですので忘れずに記入してもらってください。

※医師の意見書はまこと保育所HPからダウンロード出来ます

インフルエンザは熱が出始めた日を0日と数え、

そこから5日間、かつ解熱後(平熱で24時間過ごせるようになってから)

3日間を経過するまで登所出来ません